三才雑録

1000
3
帙入

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

特1000
3

三才雜録

目録

公卿補任ノ内
浦生記
高虎記
右ハ集人名訓
平義秀傳
索図類
朝鮮国書翰
仙洞御幸行烈
金銀之事

細川両家記
三川記
日本国知行高
御法事規式
異邦書目録
諸大名知行高
親墓日記
心観院様御葬送
可睡斎由緒書

浦上家田記
武備志日本考
後三年繪巻物
戦国古城
異本今川記
学士畧傳
禁裏附勤方

朽木文庫
朽木文庫
仙十六・二七

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

牛隠雑録

公卿補任之内

平信長
天正二年三月十八日參議従三位
月四日権大納言七日右近大將　四年十一月
廿一日内大臣十三日正二位　五年十一月十二日従二位
廿日右大臣　二年正月二日正二位四月九日
辞之

平信忠
天正三年三月廿八日出羽介二月朔正五位下十
一月七日秋田城介　四年二月五日従四位下
八月四日従上四位　五年正四位下十月十五日

従三位左中将

平信雄
天正十三年従三位権大納言又正二位 十五
年八月八日正二位十一月廿一日内大臣
被又正位之四字衍矣

平秀吉 后改藤原又改豊臣
天正十年十月三日従五位下左少将 后従
四位下三木 十二年十一月廿二日権大納言
従三位 十三年三月十日内大臣七月十一日
関白従一位十四年十二月十九日太政大臣

豊臣秀長
天正十四年正月七日三木従三位十一月四日権
中納言正三位十五年八月八日権大納言

豊臣秀次
天正十四年十二月廿五日三木従四位下右中
将如元 十五年十一月廿二日権中納言従三
位 十二年四月十九日従二位 十九年二
月十一日権大納言正二位 十四日内大臣
廿八日関白 二十年文禄四年七月八日出家十五日薨 号高厳
寺

豊臣秀保 秀長子
三木従四位下廿二年二月七日権中納言従三
位 文禄四年四月横死
豊臣秀俊 天正十九年十二月八日
天正十九年十二月三木 二十年

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

七月十日權中納言從三位
被秀保卜云者無所見文祿四年四月十津川ニ
横死ス者秀俊也補任秀俊ノ又ヲ不記
害
豐臣利家　天正十八年二月七日參木
三年四月朔權中納言　文祿
一日權大納言　慶長二年三月十
豐臣秀勝　天正二十年二月七日參木
豐臣利勝　慶長二年九月廿八日三木從四位
下　三年四月廿日權中納言從三位
豐臣秀康　慶長二年九月廿八日三木從四位

下　八年二月廿五日從三位　九年七月廿六
日權中納言

豐臣秀頼
慶長三年四月廿日權中納言從三位
五年三月廿七日權中納言　七年三月六
日正二位　八年四月廿二日內大臣九年四
月十三日右大臣

豐臣秀家　直家子
天正十五年八月三木從四位下同日從
三位　文祿三年五月廿日權中納言

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

元和二年ヨリ武家補任
細川両家記 又云二川分流記
永正元甲子ヨリ
元亀元庚午マテ二十七年 巻末ニ
元亀四年癸酉
三月永日 春桃書之
長生九十二歳

細川右京太夫改元

九郎 童名ノウメイ
九條尚白子

二郎澄元 讃岐守又元子

高國 安房守改國嬉
細川氏綱ハ従城ニ在永禄二年十二月廿日死

浦上宇喜多記

中與
能家
浦上ノ臣明応大永ノ比ノ人鳴村豊後守ニ
殺サル

直家
後藤美作守娘大ニ直家彼カ智ト成テ忱毒ヲ
以殺ス永禄十二三月十五日浦上宗景ヲ統ス
天正九年二月十四日死五十三

春家
基家 天正五郎

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

忠家――左京亮
秀家ト不和ニメ関東ニ属ス坂崎出
羽守ト改ム
百倍王ノ兄弟三人備前ノ一鳴ニ来リ旗幟
児ノ字ヲ書ス仍真地ヲ児嶋ト云姓ヲ三宅ト称
大後守喜多ト号スヌ孫多シ
浦上ノ中典則宗真子近江守助宗真子掃
部助村宗真子宗景真家ニ刺サル

蒲生記

秀卿ヨリ二十代蒲生左兵衛太輔貞秀入道
忠家――左京亮
秀家ト不和ニメ関東ニ属ス坂崎出
羽守ト改ム
百倍王ノ兄弟三人備前ノ一鳴ニ来リ旗幟
児ノ字ヲ書ス仍真地ヲ児嶋ト云姓ヲ三宅ト称
大後守喜多ト号スヌ孫多シ
浦上ノ中典則宗真子近江守助宗真子掃
部助村宗真子宗景真家ニ刺サル

蒲生記

秀卿ヨリ二十代蒲生左兵衛太輔貞秀入道
メ智閑ト云延徳三年八月廿二日将軍義村ヨ
リ近江国蒲生郡領掌ノ御書ヲ玉フ
文亀三年佐々木定頼馬場美乃守カ馬場
ノ城ヲ攻テ無利智閑ヲ頼ム舞鶴ノ旗ヲ見テ
城ヲ明渡ストゾ
放ニ付ルテ嘉吉元年赤松満祐将軍義教
ヲ弑セシ時蒲生下野守秀綱将軍方ニテ戦
利ヲ失ヒ山中ニ入逢ニ逃ノ処ニ鶴一羽舞下
リテ秀綱ノ首ヲツカミ飛ノ秀綱鶴ニ従ヒ
蒲ヨトテ難ナリヲチノ
鶴ノ左ノ足ヲサゲタルヨリ故トス

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

秀綱 下野守 ― 貞秀 ― 秀行 刑部大輔 ― 入道号宗拾 ― 秀紀 藤兵衛 毒殺 左衛門大夫

高仁 入道号真清 始十次郎 ― 定秀 藤十郎左兵衛大夫下野守 五十歳ニテ入道号宗智 快幹軒秀紀ト称ス 戦ス依ニ木義貞扱ニテ秀紀ヲ聟トス

貞秀 藤太郎 左京大夫 ― 秀順 音羽左馬允 子十郎 仕細川家

女子 秀紀室

延徳年中左京大夫ニ任ス 十文二テ入道号智閑江州蒲生郡日野牧中居城ス 十二ニテ卒 信楽院

秀行 刑部大輔 入道号宗拾 先又而卒

高仁 入道号真清 始十次郎 摂取院 依ニ木幕下

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

女子 閑盛信室
女子 神戸信盛室
氏卿

冬汀記三冊
戸田肥後守氏西歟之
大高城兵粮入ニ物見ニタル衆ハ鳥居四郎左衛門
松浦藤次郎同八郎五郎内藤甚左衛門同四郎
左衛門石川十郎左衛門也八郎五郎云ク歟合戦

不持ハ山取ニタル人数ヲ下ロサハ合戦スベキカ
御旗先ヲ見テ下ナル勢ヲ上ヲ引上ルヘシトノ
カリ戦ナニシ見ルトヤ地理互思召数百石
事故ナリ入レヌニシケリ
小田原落城マテ記ス

武備志 二百四十巻
明神宗天啓三年壬戌成
行風茅元儀輯

日本考
日本古倭奴國也在東海中一地分ニ五畿七道

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

二道ヲ以テ庸國百余大者五百里小者百里
最強大榮黠漢滅二朝鮮一通レ使称レ王者三十
余国其後天村雲尊ヨリ累傳テ皆称レ尊
神武天皇ニ至リ累傳皆称天皇乎中国通ズ唐咸亨ノ初改号日本
其主山城称山城君

藤堂高虎記

高虎　白雲子　初原助又ハ右衛門
伏陵寺　和泉寺
姉川合戦十五歳ニテ高名伐并家ニ在後阿閉
佐治磯野丹波織田七兵衛大和大納言ホニ
歴仕
領地初八十万石後三百万石ト成五千石ト成又一万
石ト成又二万石ト成又高麗陣ノ後伊予国ニテ
七万石ヲ引又加増二万石開泉後二十万三
千石ト成伊予半国ヲ賜リ慶長十一年加倍
二万石大坂ノ後加増五万石元和三年又五万
石都合三十二万三千石領ス

山城　高二十二万四千二百五十七石七斗八合一夕二才
大和　高五十万四百九十七石三斗八合二夕八才

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

河内	高二十七万二千三百二十三石八斗二升九合	五夕四才
和泉	高二万千二百九十二石一斗二升二合四夕	
摂津	高三十九万二千七百七石二斗九升九合	八夕七才
紀伊	三十九万七千二百二十八石一斗九合	
伊勢	六十二万千二十七石四斗四升二合	
伊賀	十万五百四十石二合	
志摩	二万 二十一石二斗四升一合	

尾張	五十二万千四百八十石五斗一升八合	
参河	三十八万三千四百十三石四斗四升二合三才	
遠江	三十二万八千二百五十一石四斗三升二合	五夕八才
駿河	二十三万七千九百三十七石四斗七合二夕八才	
近江	八十三万二千八百二十九石七斗二升七夕八才	
美濃	二十四万五千百一石五斗三合	
飛弾	四万四千四百二十九石二斗一升九合	
信濃	二十一万五千八百十八石七斗三升七合五夕	四才
若狭	八万八千二百八十一石五斗二升二合四夕	

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

越前　二十八万四千二百七十一石八斗九合三勺
加賀　四十三万八千二百八十一石七斗七升
能登　二十三万九千二百八石七斗九升五合四勺
越中　二十一万千石二斗
越後　八十一万二千七百七十五石七斗三升七勺七才
佐渡　十三万三百七十三石九斗一升一合
丹後　十四万五千八百二十一石一斗八升二合
但馬　十三万二百七十三石二斗三升五合

因幡　十七万七百二十八石二斗八升九合
伯耆　九万四千四百十二石五斗二升七合
出雲　二十八万二千四百八十九石七斗三升九合
石見　十四万二千四百九十九石二斗三升五合
隠岐　一万二千百二十五石二斗三合
播磨　五十二万八千五百十七石五斗七升九合
美作　二十五万九千三百五十三石七斗一合
備前　二十八万九千二百二十四石七斗一升

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

備中　三十二万四千四百五十二石二斗二升三合
備後　二十九万五千二百七十八石八斗八升八合
安藝　二十二万九千四百七十八石三斗一升
長門　十二万二千二百二十三石二斗四升五合
周防　二十万二千七百八十七石二斗七升
石見　十九万三千八百二十二石二斗八升五合
佐路　七万四百二十八石一斗

讃岐　十八万二千三百九十四石四升一合
伊豫　四十二万九千百二十三石二斗五升八合五夕
土佐　二十二万八千四百八十四石九斗七升四合
筑前　二十万二千九百八十一石四斗二升
筑後　三十三万千四百九十七石七斗二升九合
豊前　二十七万三千八百一石八斗四升八合三夕
豊後　三十二万九千五百四十二石七斗九升一合二夕
肥前　五十七万二千二百八十四石一斗二升三合一夕

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

肥後　五十六万三千八百五十七石一斗七升八合
日向　三十万九千九百五十四石二斗二升八合一夕七才
薩摩　三十一万五千五石六斗一夕二才
壹岐　一万八千七十二石八斗二合　琉球十二万三千石
對馬　一万千八百三十七石　宗氏
伊豆　八万三千七百九十一石二斗八升二合三夕九才
甲斐　二十五万三千二十三石二斗七升一合三才

右総高千七百七十五万七千四十一石七斗七升七合五夕一才　大隅十七万八百三十三石四斗二升一合

相摸　二十五万八千二百十六石五斗八升二合二夕
安房　九万三千八百八十二石二斗一升二夕一才
上總　三十九万千百十三石九斗五升四合一夕一才
下総　五十二万八千三百三十石一斗一升三合七夕四才
常陸　九十万三千七百七十八石四斗五升八合
上野　五十九万千八百三十四石四斗四升八合八夕七才
下野　二十八万千七百二石八斗一合四夕二才
陸奥　百九十二万千九百三十四石八斗八升七合
出羽　四夕三才
高百十二万二千二百四十八石八斗三升四合二夕

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

上方開東

都合二千五百七十八万二千九百二十九石

二斗四合三夕八才　冊皮武蔵不見

五月両記　遺逢院実隆作　一冊

為記事の巻　同方俎同図画ホクロ風

流の書なり

明月記和歌部

一條兼良公ゆき　一冊とぢもの　十冊

類聚雑要

禁中年中行事まの本図もの　四冊

西三條達人

内大臣公保子

遺逢院実隆

実隆子

称名院公條

公條子

三光院実枝

実枝ノ作源氏明星抄二十冊アリ

内大臣
天文六年十月三日死

右大臣
永禄三年死七十七

内大臣
天正二年四月廿四死

後三年合戦繪巻物之内

陣笠

士烏帽子

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

大三夫光任力所帯之力
柄ノ方ハ木見

馬ノ鞍前輪ノ中央ヘイツレモ布ヤウノ物ニテ結メリ
不會意
圭冠（ミカムリ）　日本紀今ノ士烏帽子也ハシニハリノ略カト
秋肴ヲリ
日本紀略ニ弘仁六年七月癸巳幸神泉苑

甲午諸国司迂替以四年為限

宝亀二年七月廿五日為家奉詔撰續後撰集
建長三年十二月廿七日奏覧
正嘉三年三月十二日同人奉勅撰續古今集仍
長二年加墨行家光俊文永二年十二月廿二日
奏之
正安三年十一月廿三日為世奉詔撰新後拾遺
集　嘉元二年十二月十九日奏之　文保二年
十月晦撰続千載三年四月十九日奏之
元亨三年七月二日為藤奉詔撰續後拾遺
未成功卒故十一月十一日再敕為定正中二年

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

二月十八日奏之　延文元年二月十日奉詔撰
新千載集四年四月廿八日奏覧
天武十三年閏四月五日詔云々改要者軍事
也是以文武官之諸人務習用兵及乗馬
古今集　原忠　原実
宮道潔興　藤勝臣
菅野忠臣　日本書紀
後撰　菅原雄　平中興
源順　藤原伊尹　難波万男
拾遺　長能　信昌
後拾遺　大江匡房　源経信
為義　惟規　為訓
源資　藤原清輔
帝

右袋冊子

奈良の帝とハいつれの平城帝をさしてハ申也
都しのふいうるあしの帝とハ平城帝ノ隈ふそ
とつゐい説之接ふふ沢帝ともそ
ふくし

伊勢軍記　十二冊
神戸改房子良改作此略本一冊紀冊君ニ献ス
改事要畧　残冊　十七冊
大同小異

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

朝野群載 残巻 廿冊
吉野拾遺 原本 三冊
六家集
長秋詠草 俊成
拾遺愚艸 定家
拾玉集 慈鎮
明和二年丁酉四月於日光山
東照宮百五十年御忌勅會之御法事參
向之御
鷹司右大臣輔平 二十六 廣橋大納言輔忠 二十三
山家集 西行
月清集 後京極
壬二集 家隆
神明鏡 二冊

姉小路前大納言公文 五十二 勝法輪大納言季春 三十二
万里小路大納言詔房 三十六 平松中納言時行 五十一
四辻中納言公音 三十七 滋井中納言公麗 三十二
風早参議公雄 四十四 樋口前宰相基康 五十九
園池前宰相房季 五十六
殿上人
正親町中將公功 三十一 清水谷中將公美 三十二
正親町三條中將実同 十七 堤勘解由次官栄長
鷲尾中將隆建 廿七 藤井右京権太夫兼矩 四十四
三室戸中務太輔光村 二十六 千種中將有政

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

園中將基村　二十一　梅園中將成季
柳原左少弁光房十九　他屋　兵部少輔定治
櫻井右馬頭兼文　廿三　錦小路差次藏人賴富　廿一
押小路新藏人俊典

着座門跡
青蓮院宮尊真法親王
梶井宮常仁法親王　廿二
　　十四
臨時奉幣使
風早宰相
同次官
梅園中將

禁裏御贈経使
小親町中將
女院御贈経使
清水谷中將
親王御贈経使
小親町三条中將
准后同
鷲尾中將
葉行事
千種中將
堂童子

園中將

同 式部少輔 同康博
榊原治部亟和氣正茂
青木玄蕃大輔宗岡行親
徳岡雅楽大允小野久弘
山口式部小亟安部盛明
同 主殿助依伯職秀
山科刑部大亟紀登民
山科和泉守 紀正仲
小野大炊大允紀民富
三宅中務大掾宗岡脩行
青木右衛門少尉宗岡行慶

山口治部大亟中臣康俊
山中玄蕃権助大江秀昌
若狭雅楽大允紀氏方
三入弾正少忠藤原直和
小野主殿助伴茂成
真能若狭守有部親弘
栗津右兵衛大尉中臣清胤
行事官代路守紀春昌
座田内匠少允紀氏章
青木遠江守大中臣宗岡行春
堺川近江守大右弘光

地下

押小路大外記中原師資(トシ)
山口小外記中原秀昌
平田少内記中原永清 出納代

高尾遠江守中原康晃
壬生左太史小槻知音
村田式部大輔高橋春敷(ニテ)

三室戸中務
錦小路差次藏人
提 執鋼
動解由次官
執蓋
櫻井右馬頭
他兵部少輔

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

同　左衛門少尉大石弘澄
同　右馬大允原奥氏
清水掃部権助藤原利尹
同　圖書少允同祐泰

仕人
徳岡左衛門小野葛隆
小篠主税原福忠
衛士
童　教高藤井童直
若狭　極藤井並忠
使部

大鳴左馬大允原友慶
橋本主殿佑秦井野信益
田村図書大允同廣教

佐々木内匠原富茂

童　頼母藤井童之

小田左近藤井三乗
中嶋弾正同頼定
川口主膳藤井矩美

駕輿丁
小畑数馬秦定資
近松余四郎同正常
神田民部同宗宣
成伐師
従儀師
寺家
兼仕

大将原之進同義文
高野八次郎加茂方森

大石求工同隣康
若井求馬同宗行

土橋大蔵卿法眼詮鉦
鳴瓢兵部卿法橋幸秀
寺家宰相法眼養氣
二人

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

綱掌　永右坊実盈
鉦取　磯部久治
　　加納長治

所司　新村庄左衛門　一人
岡田平兵衛　一人
大仏師　四十五人
繪可　十二人
楽人
菩薩

総奉行
御用掛
松平摂津守
酒井飛弾守
小野日向守
松平庄九郎
松平筑後守

松平右近将監

土岐美濃守
筒井大和守
夏目藤四郎
新庄織部

御使
小出信濃守

田沼主殿頭

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

前田伊豆守
鳴庫佐路守
坂大和守
依竹壹岐守
松平典部少輔

御名代
井伊掃部頭
酒井修理太夫
松平對馬守

秋月山城守
二卿典庫頭
若城左京亮
九鬼長門守

酒井備前守
大久保佐渡守
小笠原飛弾守

本多豊後守
畠山飛弾守
土屋丹後守
永石出羽守
伊東山城守
酒井對馬守
野々山彈右衛門

由良播摩守
松平若狭守
太田駿河守
戸部遠江守
松平右典衛尉
大鳴雲四郎
荒井十太夫

戦國古城

佐内飯森城　三好長慶
同若江城　三好義次

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

同 高谷城 畠山昭高
同 花隈城 同
同 舟江城 同
尾州 岩倉 織田信泰
三河 安城
遠州 高天神 小笠原
同 三浦 三浦介
相州 石倉
安房 立山 里見
江州 観音寺 佐々木
摂州 伊丹城 池田勝入又子
伊勢 大河内 北畠国司
同 上野城 長野
同 勝幡 同
同 上野 同信秀
相州 大場 松平信定
武州 松山城 上杉管令
武州 八王寺 上杉
上総 生実 北條
同 小弦 足利義明
同 千石 馬井長次

同 箕作
信州 木曽 木曽義高
同 更科 村上
上州 平井 上杉
若州 高濱 逸見遠昌
賀州 高尾 富樫介
武州 五十子 上杉
同 上月 同
常州 入砂
紀州 岡城
阿州 鳩山

同 大津
同 海野口
同 岩尾
同 箕輪 長野業正
越前 一乗谷 朝倉
能州 七尾 畠山
長曽我部 伊予世多 大館氏明

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

筑前三花
同加波屋
同志方
同十月
同己斐
同海浜
同七竈
同小牧山
同蟹江
同横山
同二股

同別所
同同
同同
同前田

備中冠城　毛利家
阿波大山寺　三好
同神吉　同
安来吉田　毛利
同大城　同
同櫻尾　同
尾州大高
同小幡
遠州見付
同能満寺
同宮崎

山州伏見
同有院
同山崎
同信貴　松永久秀
根州中嶋　細川
同桑田
同三宅
江州佐和山
尾州星崎
奥州寒川江
遠州諏方原

同青龍寺
同如意嵩
大和多門
同井土
同一藏
同芥川
同榎並　三好
甲州若戸野
同鳴海
三州砦掛
同高天神

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

同 用宗
同 宮芋
相州岡芋
同 津久井
同 牧野鳩　馬場信房
同
同 沼津
同 真国寺
越後春日山　上杉
同 津蔦
武州難攻多

同 二朕
同 横山
同 深尺
信州長沼
同 海尾
駿州蒲原
同 足柄
上州
尾州清須　織田
同 加々野井
同 鉢形

同 菅谷
同 八幡山
同 宮戸
同 太田
摂州古市
山城褒楽　豊臣ヲ

同 常州毛呂
紀州下妻
同 雑賀
同 岡
同 芦屋
大和井戸

俗傳ニ建保中和田一族敗績ノ后三郎義秀逃テ高麗ニ入将ニ釜山府ヲ襲テ其将韓思庫ヲ虜シ以先遣ヲト三来茉城ヲ攻テ其将李邦

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

群ヲ斬高葉王大ニ愕乃使ヲ遣シテ招安シ討
虜將軍ヲ授ク隗祐八年七十二歳ニテ死ス豊
臣公朝鮮ヲ討ツ其苗裔平睦明ト云者尋
山ニ在テ戰死スト
寛平五年進新撰萬葉集
延喜二年鈴鹿山群盜秘殺
同十一年三月七日供若菜太子 始讀御註孝
経
延長五年上延喜格式
同二年風土記成
天慶九年冬貢之卒
天禄二年 創多田院

寛弘四年三月十三日性空寂
長治二年二月二日北地兩紅雪
永久三年千歳羽前遊女舞始
建長四年八月十八日北野社後芝上出火ヾ
弘安九年宇治橋傍建五丈石塔為鋼代停止
暦応二年毎州三安国寺

我邦ノ事跡異国ノ書ニ出ヅルハ

山海経
論衡
晉書

史記
魏志
續博物志
後漢書
呉志
宋書

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

南有書
梁書
玉篇
旧唐書
周礼註疏
李太白詩
法苑珠林
宋史
太平御覧
皇朝類苑
書言故事

南史
文選
隋書
世仁集
唐詩鼓吹
杜子美詩
稗史集
文献通考
太平廣記
鶴陽全集
宋元章書史

北史
速異記
新唐書
杜佑通典
南陽雜組
白氏長慶集后序
義楚二帖
雲笈七籤
文苑英華
玉海
中華古今註

鼠璞
僧史畧
釋門正統
普燈録
居家必用
図繪宝鑑
事文類要
皇明実記
蘿山集
紀効雜書
月令廣義

菊譜
釋氏資鑑
宋高僧傳
佛祖統記
薩天錫雜詩
瀛奎律髄
皇明資治通記
兩朝平攘録
大明一統志
續説郛
劉氏鴻書

鶴林玉露
教行録
傳燈録
元史
書史會要
顧亭林詩
明改元考
高皇帝文集
大明會典
唐詩訓解
萬姓統譜

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

聊斎代醉　三才図繪
續釈氏稽古畧
適情録　玉煙堂
文房墨苑　本州綱目
賢雄類書　閩書
武備志　續文章正宗
大学衍義補　聽雨紀談
未来人　皇明世法六
遵生八牋　事林廣記
明詩選　唐類函
臺韻考　大明一統賦

五燈會元
夢観集
医学綱目
五雑俎
図書編
続資治通鑑綱目
五倫書
普陀山志
唐詩歸
博物典彙
儒語編類

翁州稿選
登壇必究
三韓詩龜鑑
晉山世稿
續行実図
大典続録
懲毖録

蒼霞草
東国通鑑
纂考集
東人詩話
太平通載
神應経序

計一百二十六

献徵録
三国史記
東文選
三綱行実図
経国大典
海東諸国記

出異称日本傳

平姓　桓武天皇男一品式部卿葛原親王一男
大学頭従四位下高棟王天長二年閏七月賜
平朝臣姓貫左京

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

同　高棟王子上怒久高望王覧平
元年五月十三日賜平朝臣姓
在泉　平城天皇子一品阿保親王子　行平守
平仲平業平四人

大江　阿保親王子三木従三位音人貞観八
年十月十日賜大江姓　或云始大枝后改之
中泉　本姓十市宿称天延二年十二月改賜中
泉姓　安寧三子磯城津彦命后也
惟宗

卜部　元祖平麻呂元枡伊豆国人賜卜部姓事
未詳　中臣同姓トスル者附會而已

高階　天武帝皇子一品高市皇子六世神祇
白髪緒兼和十七年賜高階真人姓　五代
孫従二位成忠　正暦二年改為朝臣

日下部　孝徳帝孫二子表米皇子天智御宇
賜之　本姓氏二異

国学辨　尾州　吉見幸和述
宗廟社稷問答　同

辨卜鈔　同

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

日本書紀義解　多田義俊　同
同　氣吹抄　同
造姓傳　同
宮川日記　同
メチハ草　同
南領子　同
秋有間語　同
職原鈔　同
北外尚多予未見
東雅　荒井君美著　同
中臣祓古義　同
神明憑於　同
數内傳　同
和歌物語　同
同遺稿　同
旧事記偽書考　同
同文通考　同

本朝軍器考　同
殊号事畧　同
採孑兵法擇　同
讀史余論　北余猶多
蕃翰譜　古史通
異本今川記四冊　改ニ右四巻ヲ前代ノ聞書　新安手簡
卜云是ハ駿州蒲原住人有藤道有七十余歳
記之　附録一冊今川家法度手ヲ記ス
今川義忠ノ時代乃山中務入道又子犬場次郎
左衛門築田左京亮ナト云者額田郡井ノ口

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

ト云ヒ三川国ノ御家人松平和泉守入道戸田弾正又子ニ被仰付卿退治也九山八大平郷ニテ戸田ニ討レ大場八深溝ニテ和泉守ノ子大炊介ニ討ルト

一文明七年ノ春遠江住人横地四郎兵衛勝間田修理亮謀反ヲ起シ武衛ト内通シ故狩野介カ館ヲ城郭ニシテ籠ル今川義忠駿河ヲ討取ル久野佐波守奥野山民部少輔森外記三浦次郎左衛門国部五郎兵衛未五百余人ニテ攻囲ム七日ニメ啓城敗陣ノ時一族起リ塩見坂ニテ合戦義忠討死也

清光
- 義行
  - 義銑 法名浄蓮
    - 家房 武田九郎
      - 景弘 武田二郎
        - 家弘 武田二郎
          - 東長氏 上三郎
            - 光春 同庄司
          - 忠長 陽川庄司 住本宮
        - 有長 幸徒二郎
      - 行長 北山五二郎 男女別當長慶
    - 範長 川次郎
    - 末長 別所二郎
  - 南古九郎 八条藏人

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

師房 卿本三卿 土佐住
- 師重 兵衛二卿
  - 師直 原三
    - 師親 左兵衛尉
- 弘俊
- 光俊 同二卿 法名城仙
- 忠俊 愛岡二卿
- 実俊 同三卿

北三人子孫多濃州ニ住

光行
光平

家房孝
- 童蓮 四卿 子孫丹波南部ニ住
  - 義俊 竹林四卿
    - 義秀
- 義国
  - 里見異系
  - 義重
    - 義基 里見二卿刑官代
      - 義成 伊賀守
      - 義直 里見刑官代
      - 義行 巷岡三卿
      - 政氏 中里見七卿
      - 基義 刑部二卿 奥州大将四十二死

熊野ヨリ出

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

義胤 山本氏 ― 義連 仁田山 ― 基義 刑部大輔 廿三仕北城討死
家兼 大炊介 ― 家基 ― 義実 刑部大輔 房州太守
満俊 民部少 ― 持家 兵部少 ― 氏兼 藏人
改兼 兵部少 ― 成頼 十郎
義成 左衛門佐 房州太守 ― 義通 同 ― 義豊 二郎 上野介 相摸守
義尭 二郎 陸奥守 ― 義弘 ― 義頼
義家 ― 忠義

光時 山木大膳 北条三郎右衛門尉下ル
山木中書
義高 里見讃岐守 室仙井家次女
慶長十八十月 朝改易
足利直冬 ― 慈恩寺 ― 直集 中国武衛 琴善福寺
乾珍 相国寺僧 室山和尚嗣法 乾五
嘉吉十二廿五 永四十八

伐野一条
光時 伐野二郎 使左衛門尉二条院
判官代 始号伐野
光忠 三郎 仕頼任領相州内三百丁

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

光盛　三郎二郎　美乃守　宗卜
仕頼経領地如又

頼隆　庚三郎　嘉暦二九月廿三日死
道頼

頼長　庚三郎　丹波守
延慶元八月従五下　元慶六八月討死四十二

長直　又三郎　毋仁木氏
仕尊氏領相州内三百丁

長盛　庚三郎　弟左衛門　左京太夫
毋塵区義実女
二十五通圓

。文二七月　十八日死

詮長　庚三郎　但馬守
仕義詮領　五百丁

毋石川義忠女

長範　又三郎　又右衛門　仕義満

毋細川銓春女

持長　庚三郎　丹波守　毋
義教被殺時自害

長利　又三郎　又右衛門　毋細川二郎満四女

長保　又三郎　但馬守　毋西条四郎満政女

長満　庚三郎　又右衛門
法名泰順　八十二

毋山口氏

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

勝隆　毋木野信改女　仕信秀

寛永系ニハ

二郎光忠　三郎太郎光盛　又三郎義盛
彦三郎長盛　彦二郎長隆　彦二郎長信
兵庫長光　又左衛門長保　又左衛門長光
又左衛門長勝

蜂須賀ハ斯波傳氏ノ分流ニ文明三年家臣甲斐氏
迸心ニテ武衛家裏ヘ門葉或ハ陣川氏ヲ名乗諸国
ニ分散ス蜂須賀藏人ニ利ハ尾州海東郡蜂須賀
村ニ百貫ノ地ヲ領ニ蟄居スト云

ニ利　小六藏人　ニ勝　小六
家政　小六彦右衛門　長門守　蓬菴

義貞ニ子
義宗　左兵衛佐　武藏守
左少將　ニ四下

義辰　相模守　行啓入道
居住信州大河原後諏奥州白部　心永
十年四月廿五日於相州底倉被討

義則　刑部少
又討死ノ後、不知行方ニテ
誤テ義宗子義則ト
按義辰ハ

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

義季　新田冠者
　義光　頼田五郎
　経義　新田小四郎
　義佐　白河院蔵人
　義盛　新田判官代

奥方　応永十七年七月廿二日於下総国為千葉介
被討
　隠純　若松治部太輔
　為直国入道法松養子

義俊　実平賀左兵衛尉盛義子　義資　新田四郎也

頼有　得川四郎六郎　従五下下野守
　譲徳川卿

頼泰　下野三郎　実平賀左兵衛尉盛義子　義資
　女　若松二郎経兼室太郎改経世

頼尚　七郎　尚氏　太郎
　頼貞　彦三郎
　頼氏　孫四郎　三河守　三河前司
　イ頼成

良隠

女 北丘尼 孚淨 光院

女 十角女 法名淨念

顕氏 得川二男

有氏 世良田十二郎 遠江守

宇氏 同又二郎 修理亮 無部太輔

義有 二郎太郎 兵部丞

家氏 三郎 修理夕

教氏 世良田弥三郎 法名淨真

或教有

滿氏 江田三郎

義氏 同二郎

行氏 同三郎

行義 三郎兵衛 建武三十十从義貞赴北國

家時 孫二郎

僧

滿義 又二郎 下野守 イ光義

義秋 三郎 無庫夕

改義 改親イ 太郎 右京亮

大吹夕

康氏 大膳大夫 仕持氏

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

義植云記　平鳴記　皆川記
多賀谷傳記　結城戰場別本　同日記
五十子記　天菴記

和卅往則康作ウラニ寛文十一年二月日
ノタレ燒大躰ノ作
右於大坂見之新刀銘尽ニ脫ス

日本紀講ス此例
康保二年外記勘申養老五年博士
弘仁三年　私記云四年博士刑部少補從五

五位下多朝臣人長
寛和二年二月朔日博士散位菅野朝臣
高平　建春門ノ南腋ノ曹司ニ講之
元慶二年二月廿五日博士伊予介善岡
愛成敷政門ノ外百陽ノ東廂ニ講之
寛宴　同二年八月
序、從五位下行大内記菅野朝臣惟肖奉勅
兵部卿本康親王以下三十人
延喜四年八月廿一日博士從五位下大学頭
藤原春海　逐之前下野守
寛宴　同二年閏十二月十七日序者從五位

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

下行大内記周防権介
兵部卿貞保親王以下三十二人
某年二年十二月八日博士従五位下行紀伊
権介矢田部宿称公望宅宣陽殿東廂講之
竟宴　天慶二十二月廿四日依乱延引
敦久中務卿重明親王以下三十七人
康保二年八月十三日博士従五位下行紀伊
仲遠宣陽殿東廂講之
日本后紀二十二弘仁三年二月戊子
續日本后紀十三承和十年二月戊午朔

三代実録三十二元慶二年二月廿五日辛卯
同三十五元慶三年五月七日丙申
同四十二元慶二年八月廿九日戊辰於侍従局南
右大臣曹司設日本紀竟宴
新国史云延喜四年八月廿一日壬子北日於宣
陽殿東廂令初講日本紀也前下野守藤原
朝臣春海為博士紀傳学生矢田部公望
明経生葛井清監未為尚復公卿矣太夫
咸以會矣特名大舎人頭惟良宿称高尚
文章博士三善朝臣清行式部大輔藤原朝
臣菅根大内記三統宿称理平敦忠少

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

吉子古民部少亟藤泉佐高少内記藤博文ホ
令預講座

戴武鑑諸大名知行高

百二万二千七百石	前田	七十七万八百石	鳩津	三十三万五千石	他田
二十二万五千石	伊達	六十一万九千五百石	尾張	三十万石	蜂須賀
五十五万五千石	紀伊	五十五万石	畑川	二十五万石	保科
四十二万二千石	安木	三十二万九千石	黒田	二十五万石	佐竹
三十五万七千石	鍋嶋	三十五万石	毛利	二十五万石	柳沢
三十五万石	井伊	三十二万五千石	水戸	二十五万石	上杉
			他田		榊原
					酒井雅楽
					松讃岐
					酒讃岐
					松越中

三十二万三千九百五十石	藤堂	三十一万五千二百石	他田	十四万石	酒左衛門
三十一万石	越前	二十五万七千五百石	蜂須賀	十二万九千六百石	三花
二十四万二千石	山内	二十三万石	保科	十二万九千百廿九石	大久保
二十一万石	有馬	二十万五千八百石	佐竹	十二万三千五百五十八石	酒讃岐
十八万二千石	松出羽	十五万千二百八十八石	柳沢	十一万石	松越中
十五万石	松大和	同	上杉		
同	松隠州	同	榊原		
同	木笠原	同			

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

十一万石　　狭田
十一万石　　真田　同
同　　阿部　同
同　　戸田　同
同　　松下志　同
十万二千石　　稲葉
右十一万石以上四十五人
惣高千百四十二万七千九百廿五石　　五十二万石落
九万五千石　　土屋
七万七千八百五十石　　戸田山城
七万三千二百五十石　　鍋嶋紀伊
七万石　　牧野越中
七万四千石　　牧野
七万二千石　　松右京

丹羽
南部
阿部
伊達遠江
奥平

七万四百四十石
同　　中川
同　　内藤紀伊
同　　松伊豆
二万三千石　　土井大炊
二万三千石　　久世
二万八千二百石
二万千七百石
同
五万九千石
十二万石

千葉左渡
奉多隠岐
松平丹波
相馬
井上
松丹後
内藤紀伊

五万八千石

松備後
松豊後
松主殿
戸沢
松浦
秋元
松平和泉
水野和泉
石川
加藤
松右近
仙石

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

五万四千石　松遠江
五万三千石　岡部
五万二千六百石　鍋嶋紀伊
五万千八十石　伊東
五万四百石　松周防
五万三十七石　太田
同　板倉
同　毛利能登
同　本多中書
同　青山
同　溝口
同　安藤

五万三千石　松伊賀
五万三千石　藤堂佐渡
五万千八十九石　脇坂
五万千九百十二石　京極
五万六十石　稲葉
五万石　間部
同　黒田
同　有馬日向
同　松紀伊
同　秋田
同　松越後

四万八千石　青山
四万三千石　亀井
同　松大膳
三万六千石　永井飛騨
三万五千石　土岐
同　牧野
同　松内膳
同　杉木
同　内藤大和
三万二千石　松左京
同　田村
同　細川中書

四万六千石　津軽
四万石　本多
同　土井能登
九鬼
西尾
細川若狭
永井伊賀
牧野對馬
松中務
松佐路
伊達和泉
黒田大和

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

松平兵部　二万七千九百七十石　大村　二万石
松飛弾　二万七千石　板倉　二万七千七十石
諏訪　同　細川　二万二千七百十一石十出
稲垣　二万六千二百石　加藤伏度　同
秋月　同　木下大和　同
松能登　二万五千石　植村　二万石
板倉　同　木下肥後　二万石
毛利　同　池田内匠　二万石
大久保　同　鳩庄　二万石
鳥居　同　堀丹後　二万石
堀丹後　同　松山城　二万石
松山城　同　板倉　二万石

三浦　二万三千石　増山　二万石
土井　二万二千百石　才筆泉　二万石
相良　二万二千石　松平膳　二万石
酒井大和　二万二百五十石　二郷　二万石
安部丹波　二万石　織田　二万石
森　二万石　大岡　二万石
分部　二万石　松播广　二万石
松大学　二万石　松兵庫　二万石
保科　二万石　毛利　二万石
鍋嶋　二万石　松佐竹壹岐　二万石
井伊兵部　二万石　松摂津　二万石
若城　二万石

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

一万八千石　本多豊後
一万七千石（公可作）　酒井右見
一万二千石　宗
一万五千石　内藤山城
一万五千石　板倉
一万八千石　猪大和
一万二千石　田沼
一万二千石　永野日向
一万五千石　市橋
一万二千石　阿部飛弾
一万二千石　内藤主殿
一万五千石　京極甲斐
一万五千石　酒井駿河
一万二千石　南部甲斐
一万二千石　松備前
一万二千石　石川内膳
一万二千石　九鬼
一万二千石　織田山城
一万二千石　大関
一万二千石　細川
一万二千石　松右見
一万二千石　内藤美濃
一万二千石　池田

一万五千石　牧野遠江
一万五千石　本多伊予
一万五千石　森
一万三千四百三石　稲垣長門
一万二千五百石　久留嶋
一万二千石　大久保
一万二千石　米倉
一万二千石　京極備後
一万千四百石　太田泉
一万千石　戸田長門
一万六百三十石　小堀遠山
一万五千石　水野壱岐
一万五千石　本多弾正
一万三千五百石　渡辺
一万二千二百石　立嶋
一万二千石　松豊前
一万二千石　堀田出羽
一万二千石　三宅
一万千石　片桐
一万千石　米津
一万千石　土方
一万八十二石　石
一万三百石　伊東

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

一万二千石　酒井大和
一万石　松平
一万石　松大隅
一万石　毛利讃岐
同　柳沢伊賀
同　本多肥後
同　同弾正
同　三花出雲
同　戸田伊豆
同　本庄
同　松浦大隅
同　上杉

一万石　松左兵衛
一万石　松日向
一万石　前田大和
同　有馬
同　柳沢式部
同　小笠原信濃
同　酒井飛弾
同　丹羽式部
同　堀田
同　松安房
同　京極
同　井上

同　加藤
同　堀
同　織田
同　大岡
同　高木
同　建部
同　北條
同　新庄
同　一柳美濃
同　遠藤

同　永井信濃
同　堀
同　織田
同　内田
同　森川
同　山口
同　青木
同　一柳土佐
同　柳生
同　加納

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

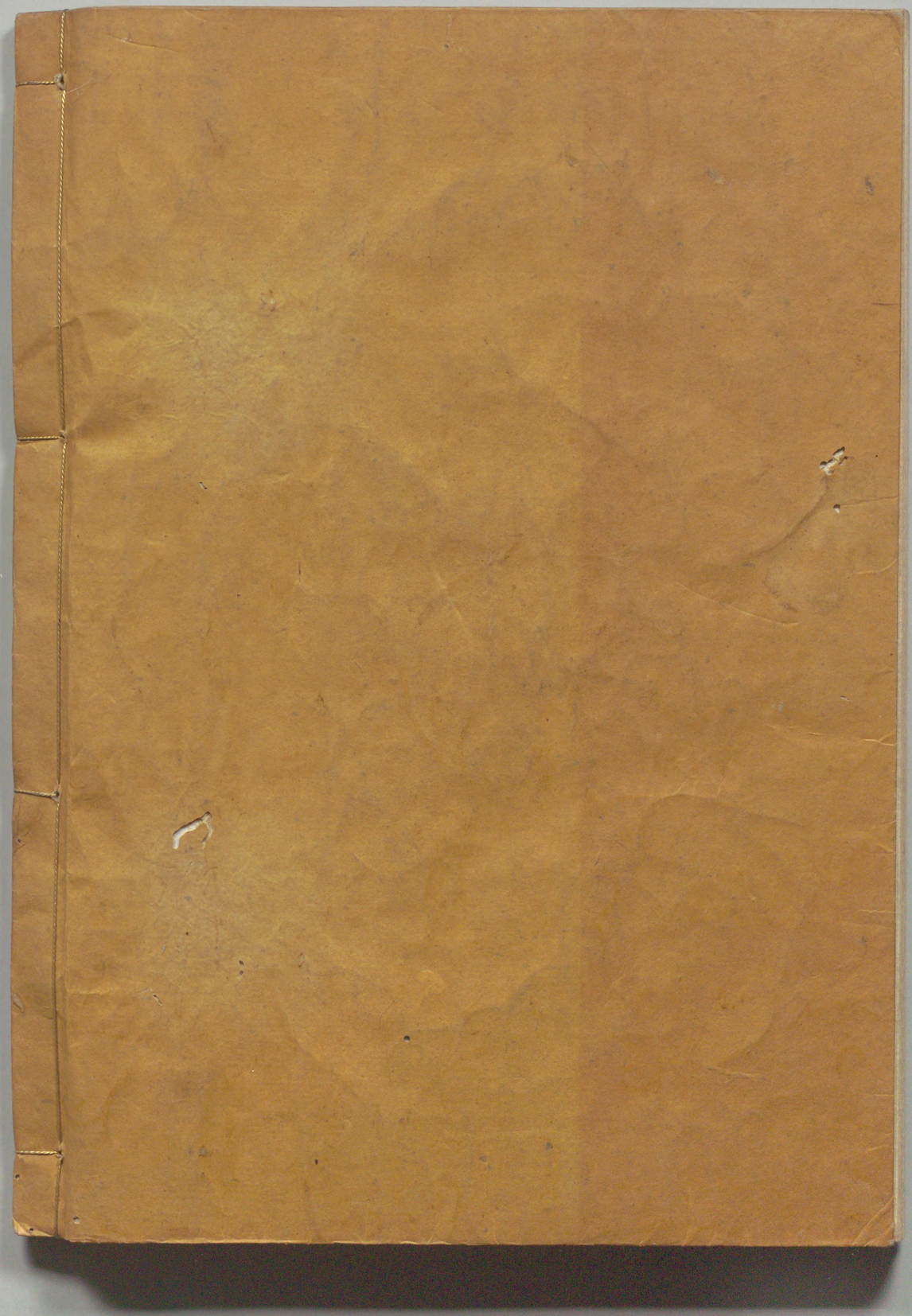
ガラス使用

1000
3

通計二百十四人
惣高六百廿一万七千百五十三石
前後都合二百五十九人
高千七百二十八万五千七十八石

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用



国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用